

2年生の立志式を行いました

2月20日(金)の午後、2年生の「立志式」を各クラスごとに行いました。各自、事前に色紙を作成し、その色紙を持って教室の前で発表しました。色紙の右側には「決意の言葉」を、左側には作文を貼り、空いたスペースには手形やイラスト、友達からのメッセージなどが書かれていました。多くの保護者の方にも参観いただき、子供たちは多少緊張しながらも、堂々とした態度で自分の思いを発表することができました。学校便りでは2名の生徒の作文を紹介します。

***** 2年2組 マニャラック・ベル・サマンタ *****

私が「規律」という言葉を、決意の言葉に選んだ理由を話します。まず、「モチベーションを上げる」という言葉がありますが、それは、エネルギーを一時的にわきあがらせるには効果的ですが、目標を達成するには少し足りないことに気づいたからです。やる気が出るのは嬉しいことですが、疲れ果てたり、ストレスを感じたりすると、すぐに消えてしまいます。「規律」は違います。ただそこに存在するのです。今、私が身につけている習慣があります。例えば時間通りにベッドから起きたり、一番難しい行動を先に終わらせようと自分に言い聞かせたりすることです。これが、のちの大きな目標に向けて脳を鍛えることにつながっていると信じています。今スマホで気を散らしている時間よりも、将来自分が望むもののほうがずっと大切だと自分に言い聞かせる、これが私のやり方です。私にとって規律とは、気分が乗らない時でも、とにかく行動をすることです。正直に言うと、私はまだ100%規律には程遠い状態です。大変な苦勞をして失敗する日もあります。でも、私は努力しています。なぜなら、私の目標は航空業界に入ることだからです。パイロットとして働くとしても、客室乗務員として働くとしても、飛行機の中では一番冷静でいなければなりません。空の世界では、ルールに従って行動をします。どんなに疲れていても、常にルールを守ります。今日、もっと規律正しく自分をふるいたたせることで、ジェット機に乗る前から飛行訓練を始めているような気分です。航空の世界は信頼がすべてです。人々は乗務員に命を託します。そして私は、その信頼を確実に得る人間になりたいです。今、私が追い求めているのは単なる「夢」ではなく、現実の目標です。



***** 2年5組 丸山 吾朗 *****

僕には、大切にしている言葉があります。バスケットボールの神様、マイケル・ジョーダンの「私は九千回以上シュートを外し、三百試合に敗れた。決勝シュートを任されて二十六回も外した。何度も何度も失敗してきた。だから私は成功したんだ」という言葉です。スーパースターでも、人一倍失敗して、それでもあきらめなかったところがすごいと思い、この言葉を選びました。

僕の将来の夢は、キッチンカーで料理を作り、たくさんの人に食べてもらうことです。そのために今、特に数学の計算を頑張っています。お店をするには、お金の計算が欠かせないからです。

もう一つ、これから頑張りたいのが接客です。僕は初めての人と話すのが苦手です。今はまだうまくできません。でも、ジョーダンの言葉のように、失敗しても逃げずに挑戦し続けたいです。立派なキッチンカー店主を目指して、一步ずつ努力していこうと思います。

金建先生から卒業生へお祝いのメッセージが届きました

本校の卒業証書は、2007・2008年度に本校で教頭先生をされていた「金建幸助先生」に卒業生の氏名等を書いていただいています。今年度、「卒業式の時に飾っていただければ・・・。」と2つの作品を提供いただきました。現在、1棟と2棟を結ぶ渡り廊下に掲示してあります。「旅立ちの日に」の歌詞が書かれています。金建先生ありがとうございました。

